

福岡医発第 3262 号 (地)

平成 28 年 3 月 10 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻 一 良
(公印省略)

第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会の開催について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般標記の件につきまして、第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会より別添の通り通知がありましたのでお知らせいたします。

本学術集会は、全国より例年約 2,000 名以上の救急医療に携わる医師、看護師、救急隊員、薬剤師、診療放射線技師など多くの職種の会員が参加し、最先端の研究結果の発表や活発な議論が展開されております。

今回の学術集会は下記日程で開催予定とされており、メインテーマを『救急医療と Mass gathering medicine』とされ、間近に迫った 2020 年東京オリンピックの見据えた Mass gathering medicine や職種、職域を超えた救急医学分野を含む幅広いテーマを取り上げる予定とされております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただくとともに、貴会会員へのご周知をお願い致します。

記

●第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会

△テーマ 『救急医療と Mass gathering medicine』

△と き 2016 年 (平成 28 年) 5 月 12 日 (木) ～ 5 月 14 日 (土)

△ところ ・全国メディカルコントロール協議会連絡会など (2016 年 5 月 12 日 (木))

ホテルハマツ

・学術集会、総会 (2016 年 5 月 13 日 (金) ～ 5 月 14 日 (金))

ビックパレットふくしま

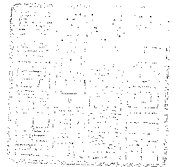
△対 象 医師、看護師、救急隊員、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、メディカルソーシャルワーカー、医療事務など救急医療に携わっている方

平成28年2月19日

都道府県医師会長 様

第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会

会長 高谷 雄三
(福島県医師会会長)



第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会の開催について

時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、標記総会・学術集会の会長を仰せつかり、2016年5月12日(木)～14日(土)の3日間、福島県郡山市において開催する運びとなりました。

本学術集会には、全国より例年約2,000名以上の救急医療に携わる医師、看護師、救急隊員、薬剤師、診療放射線技師など多くの職種の会員が参加し、最先端の研究成果の発表や活発な議論が展開されております。

今回の学術集会は、メインテーマを『救急医療とMass gathering medicine』とし、間近に迫った2020年東京オリンピックを見据えたMass gathering medicineや職種、職域を超えた救急医学分野を含む幅広いテーマを取り上げ、活発な意見交換の場となるよう鋭意検討しているところでございます。

つきましては、別紙を参照いただき、多くの方にご参加いただけるようご配慮いただきたくよろしくお願いいたします。

記

1. 会 期：2016年(平成28年)5月12日(木)～5月14日(土)
2. 場 所：
 - *全国メディカルコントロール協議会連絡会など(2016年5月12日)
ホテルハマツ
 - *学術集会・総会(2016年5月13日～5月14日)
ビッグパレットふくしま
3. 対 象：医師、看護師、救急隊員、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、メディカルソーシャルワーカー、医療事務など救急医療に携わっている方

(事務担当：八巻、阿部(勝)、高橋 TEL024-522-5191/FAX024-521-3156)

第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会

第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会

会 長 高谷 雄三
(福島県医師会 会長)

副会長 田勢長一郎
(福島県立医科大学救急医療学講座 教授)

顧 問 石井 正三
(日本医師会 常任理事)

第 19 回日本臨床救急医学会総会・学術集会について下記のとおり開催いたしますので
多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

会 期：2016（平成 28）年 5 月 12 日（木）～14 日（土）
※5 月 12 日（木）に理事会、評議員会を開催予定。

会 場：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市）及びホテルハマツ
5 月 12 日 学術集会・全国メディカルコントロール協議会連絡会・各種委員会ほか
ホテルハマツ（〒963-8578 福島県郡山市虎丸町 3 番 18 号）
5 月 13～14 日 学術集会・総会ほか
ビッグパレットふくしま（〒963-0115 福島県郡山市南二丁目 52 番地）

テーマ：『救急医療と Mass gathering medicine』

詳細は、学術集会ホームページ (<http://www.fukushima.med.or.jp/19JSEM/>) をご参照
ください。

《参加費種別》

区分	参加費		多職種間意見交換会会費	
	事前	当日	事前	当日
会 員	10,000 円	12,000 円	2,000 円	3,000 円
非会員	14,000 円	16,000 円	2,000 円	3,000 円
学 生	3,000 円	3,000 円	1,000 円	1,000 円

※会員 日本臨床救急医学会の会員のことです。なお、日本医師会会員とは別になります。

※学生 医学生・看護学生・救急救命士民間養成施設学生など。ただし、医師以外の大学院生は「学生」扱いとさせていただきます。

また、演題発表者については会員の参加費をお支払いください。

事前参加を申し込まれた方は、メールもしくは F A X にて、学生証のコピーを下

記大会事務局までお送りください。また、当日参加受付の際には学生証のご提示をお願いいたします。

〈事前参加登録〉

事前参加登録期間は2016年2月5日（金）～4月15日（金）です。

参加費用のお支払いについては、原則として銀行振り込み又はクレジットカード決済の支払いにてお願いいたします。

なお、詳細につきましてはホームページ上でご案内させていただきます。

〈登録フロー〉

①学術集会ホームページ (<http://www.fukushima.med.or.jp/19JSEM/>) 「事前参加登録ページ」の「事前参加登録はこちらから」ボタンより、事前登録画面へお進みください。

②登録確認画面へ進み、必要事項を入力願います。

③自動返信メールにて、登録されたメールアドレスへ参加登録の確認がございます。また、銀行振込口座のご案内、クレジットカード決済サイトのご案内について、記載しておりますので、ご希望の支払い方法により参加費の納入をお願いいたします。

なお、2016年4月20日（水）までにお振り込み頂けない場合は、事前登録を取消致しますので予めご了承ください。

※同一メールアドレスでの登録はできません。

※団体申し込みは原則できません。事情により団体でのお申し込みをご希望の方は、お手数ですが事務局までお問い合わせ願います。

現在決まっている企画案です。（変更の可能性があります）

*会長講演

・「福島県の災害医療」

第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会大会長

高 谷 雄 三 （福島県医師会長）

同 上 副会長

田 勢 長一郎

*特別講演

・「東京2020大会を成功させるために」

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

事務総長

武 藤 敏 郎

・「地域における救急医療」

日本医師会長

横 倉 義 武

*教育講演

・「G2015 ガイドラインをどのように運用するか（仮題）」

救急救命九州研修所

畑 中 哲 生

・「脳死下臓器提供時の課題と展望」

日本医科大学大学院医学研究科外科系

救急医学分野

横 田 裕 行

- ・「ドクターヘリの総合的活用の推進ー日本の救急医療の充実に向けて」
救急ヘリ病院ネットワーク会長 國 松、孝 次
- ・「これからの季節に向けた熱中症対策（仮題）」
昭和大学附属病院救急医学科 三 宅 康 史
- ・「放射線の人体への影響（仮題）」
放射線医学総合研究所 明 石 真 言
- ・「救急医療における倫理問題とその対応（仮題）」
中京大学法科大学院 稲 葉 一 人
- ・「災害医療と社会の仕組み～医療者にも分かるBCP～（仮題）」
日本政策投資銀行 蛭 間 芳 樹
- ・「大規模イベント開催時の危機管理等における消防機関のあり方（仮題）」
総務省消防庁救急企画室救急専門官 寺 谷 俊 康
- ・「発明・革新は臨床経験から ートレミキシン開発経験から次世代手術システムへー」
滋賀医科大学 BMIC 革新的医療システム開発部門
谷 徹
- ・「『瞬間の顔』“明るい顔 力のある顔”」
写真家 山 岸 伸
- ・「生体ストレスを解剖する」
山形大学医学部解剖学第二講座教授 後 藤 薫
- ・「救急外来における血液培養採取の有用性（仮題）」
亀田総合病院感染症科臨床検査科 細 川 直 登

*シンポジウム

1. 東京オリンピックの危機管理対応における多組織連携《指定》
2. G2015 と今後の展開《指定》
3. 重症度と緊急度、救急疾患における緊急度の確立《指定》
4. これからの被ばく医療体制のあり方《指定》
5. 救急救命士の処置拡大と問題点《一部公募》
6. 看護師業務拡大の課題と今後の方向性《一部公募》
7. 災害医療とドクターヘリおよび航空機搬送《一部公募》

*パネルディスカッション

1. 指導救命士の処置拡大の問題点《指定》
2. 小児救急医療の課題と展望《一部公募》
3. JATEC の現状及び将来への展望《公募》
4. 高齢者救急の問題点と課題《公募》
5. 地域医療構想と救急医療体制《公募》
6. マラソンにおける Mass Gathering Medicine《公募》
7. 過去の教訓から東京オリンピックに備える《一部公募》
8. JTAS の現状と今後の方向性《指定》
9. ドクターヘリ新旧基地病院の課題と展望《一部公募》
10. 救急医療に貢献できる薬剤師の育成について考える《指定》
11. 救急医療における薬物医療情報の共有化《一部公募》

12. 安全なモニタリング《一部公募》

- 1) 救急搬送時のモニタリング
- 2) 重症ケアでのモニタリング

13. 救急初療における画像診断の進歩《公募》

14. Mass Gathering Medicine における臨床工学技士の位置づけ《指定》

15. 新たな RRS の取り組み、日本でのエビデンス作成に向けて《指定》

16. 救急検査の標準化 part2～救急診療におけるパニック値を考える《指定》

17. 我が国における事態対処医療《指定》

18. どうする心臓蘇生を希望しない場合の救急隊の対応《指定》

19. 「救急認定ソーシャルワーカー」認定資格創設に向けて《指定》

20. 救急専門MSW検討委員会報告《指定》

*ワークショップ

1. 救急医療における超音波検査の有用性《指定》
2. 学校におけるBLS教育の展開例と今後の展望《指定》
3. 救急領域におけるビデオ喉頭鏡の現状《指定》

*特別企画

臨床救急医学に関連する学会との合同セッションなど。

1. 日本救急撮影技師認定機構講習会
2. 日本救急医学会OHCA特別委員会企画『院外心停止レジストリについての報告』
3. パリISテロの緊急報告
4. JPTECブラッシュアップ講習会
5. ICLS 指導者養成ワークショップ ブラッシュアップセミナー
6. 日本病院前救急救命学会

*一般演題

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. CPA・CPR | 2. AED・PAD |
| 3. ショック | 4. 多臓器不全、集中治療 |
| 5. 外傷、多発外傷 | 6. 熱傷、化学損傷、電撃傷 |
| 7. 急性中毒 | 8. 環境障害（熱中症、低体温症、高山病、減圧症） |
| 9. 異物、溺水、刺咬傷、その他の外因性の病態 | 10. 脳血管障害、その他の中枢神経系の疾患・病態 |
| 11. 虚血性障害、その他の心血管系の疾患・病態 | 12. 呼吸器系の疾患・病態 |
| 13. 消化器系の疾患・病態 | 14. 感染症 |
| 15. 栄養 | 16. 小児 |
| 17. 周産期 | 18. 災害医療・災害トリアージ |
| 19. 緊急度判定・院内トリアージ | 20. 病院前救護・MC |
| 21. シミュレーション研修 | 22. 教育（研修医、看護師、その他） |
| 23. 救急救命士の再教育 | 24. 医療安全 |
| 25. 医療経済 | 26. ICTの活用 |
| 27. 終末期 | 28. 医療連携・チーム医療・他職種連携 |

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 29. 診療放射線技師関連 | 30. メディカルソーシャルワーカー関連 |
| 31. 薬剤師関連 | 32. 臨床検査技師関連 |
| 33. 臨床工学技士関連 | 34. 歯科救急関連 |
| 35. 学生・研修医セッション | 36. その他、上記に該当しないもの全て |

※「35. 学生・研修医セッション」については、優秀演題賞を設けております。

※演題公募は締切りました。多数のご応募、ありがとうございました。

*国際シンポジウム

1. アジアにおける病院前救急医療の連携
2. Mass Gathering Medicine を支えるこれからの多職種連携
～東京オリンピック・パラリンピックを見据えながら～《市民公開講座》

*コース等の開催について

- *小児病院前救護トレーニングコース (PPMEC)
- *テレフレックス
- *PEECコース
- *日本診療放射線技師養成課程心肺蘇生法普及委員会 (JASCA)
- *薬剤教育
- *福山PCEC
- *JPTEC試行コース
- *DAM
- *心肺停止前トレーニング (POT)

大会事務局：第19回日本臨床救急医学会総会・学術集会 事務局

〒960-8575 福島県福島市新町4番22号

一般社団法人 福島県医師会

担 当：八巻・阿部（勝）・高橋

TEL 024-522-5191 / FAX 024-521-3156

Eメールアドレス：jsem19@fukushima.med.or.jp